

# PAMA BAY 24

text: Takayuki Kijima



## フィッシングに、リバークルーズに カスタマイズが楽しいスモールセンターコンソラー

これまで、様々なタイプのオリジナルモデルをプロデュースしてきたクリエイションから、今度はスモールセンターコンソールモデルの「PAMA BAY 24」がリリースされた。

「PAMA BAY 24」は、中国の深圳にファクトリーを構えるビルダー「PAMA YACHTS」で建造されている。PAMA YACHTSは、もともと台湾でPRIMA YACHTSというビルダーを営んでいたフィリップ・ワン氏が率いるビルダーの一つで、1992年に現在の深圳に新工場を建設。その後2002年に新ブランドとして立ち上げられたのが、このPAMA YACHTSである。

今回紹介する「PAMA BAY 24」は、大型艇のモーターヨットをプロデュースすることが多いクリエイションのオリジナルプロダクションモデルのなかでは、かなり小さく、しかも低価格を実現したボートだ。

この「PAMA BAY 24」も、スモールセンターコンソールモデルで

ありながら、カスタマイズが前提になっているため、標準状態では実にシンプルな造り。取材艇のようにカラーハルをチョイスし、デコレーションステッカーなどを貼るだけでも、イメージがグッと変わるので、オーナーのアイデア次第で如何様にもカスタマイズできるのも楽しみである。さらに、標準装備ではないものの、Tトップやアウトリガーを装備すれば、スポーツフィッシング仕様に様変わりし、外観のイメージも驚くほど変わる。

搭載可能な船外機は、90～150馬力。取材艇には115馬力が搭載されており、最高速は29ktに達する。115馬力のエンジンで十分なパフォーマンスと言えよう。

肝心な走りの印象は、実に素直な乗り味。とにかく走らせているだけで楽しくなる操作感といった感じである。フィッシングに良し、リバークルーズに良しと、ボート入門者に是非オススメしたい一艇である。P.B.

**Check on! YouTube**  
この取材艇のオリジナルムービーがYouTubeで見れる!  
PerfectBOAT magazine TVで今すぐチェック!!

PerfectBOAT magazine TV  
<http://www.youtube.com/PerfectBOATmagazine>



ビームは2.30mと、全長に比べれば比較的スリムな艇体。コンソール前方には2名が腰掛けられるシートを装備。パウデッキの床面積も広く、キャストイング等には最適なレイアウト。ビームに比べれば、コンソール蓋のデッキも十分な幅が確保されている。



### SPECIFICATIONS . . . PAMA BAY 24

- 全長 7.40 m
- 全幅 2.30 m
- 喫水 0.30 m
- 燃料タンク 100 L
- 船外機 YAMAHA F150
- 搭載出力 90～150 hp
- キャンペーン価格 (船外機含む、税抜き)
- YAMAHA F150 3,950,000 円
- YAMAHA F115 3,700,000 円
- YAMAHA F90 3,600,000 円
- 問い合わせ先 クリエイション
- TEL: 072-223-5884
- <http://www.creation-marine.co.jp>